令和６年度

肢体不自由教育部門

高等部

第１・２・３学年

④ｂ学習グループ

年間指導計画

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語（知）		学習グループ名	高④ｂ	
目標・ねらい	(1)日常生活に必要な語彙力や国語に関するスキルを身に付け、適切に使うことができる。 (2)話し合いや発表など、人との関わりの中で伝え合う力を高める。 (3)ことばのもつ良さを感じ、国語を大切にするとともに、言語活動を通して自分の思いや考えを広げることができる。				
担当教職員 ＊学校介護職員	小畑　圭輝、志賀　拓也、長嶺　亜矢子				
年間授業時数	105　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	オリエンテーション 自己紹介をしよう 様々な表現を知ろう	8	○簡単な自己紹介を行う。個別目標を作り、課題に取り組む。 ◆説明を聞き、課題のルールを理解しようとすることができる。	生徒それぞれの課題に合わせた個別学習課題を用意する。
5 6	偉人について調べよう	19	○偉人について調べ、その人物像を知る。友達が調べた偉人の発表を聞き、関心をもつ。 ◆偉人に興味をもち、偉人の業績への理解を深める。	生徒が興味関心をもつことができるような偉人を紹介する。
7	季節の手紙を書こう	7	○手紙やメールの基本的な書き方を知る。相手に合わせた文章を考える。 ◆TPOに合わせて文章を書こうとすることができる。	具体的な記入例を用意し、見通しをもって取り組むことができるようにする。
9 10	説話を読もう	22	○説話の内容を読解する。説話の内容について話し合う。 ◆説話を読み、書かれた内容を捉えることができる。	映像資料等を活用し、内容への理解を深めることができるようにする。
11 12	会話する力を高めよう	19	○基本的な敬語学習。相手を意識したコミュニケーションの取り方について話し合う。 ◆気持ちのよいコミュニケーションについて、理解を深めようとすることができる。	ロールプレイを通した学習を行い、具体的にどのような場面で敬語を使うのかを理解できるようにする。
1 2	書道に親しもう	21	○とめ、はね、はらうポイントを理解する。紙と字のバランスを意識して、字を書く。 ◆筆を用いて力強く、バランスを意識して字を書こうとすることができる。	手本に十字で点線を書き、バランスを意識できるようにする。また、書き順も記載し、正しい書き順を覚えることができるようにする。
3	すごろくを作ろう	9	○友達と話し合い、ゲームを面白くできるように工夫する。 ◆友達と楽しく遊べるルールを考えることができる。	ルール作りの例を提示し、見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。
通年	四字熟語、ことわざ 級別漢字学習	－	○級別漢字、四字熟語、ことわざ学習 ◆自分の段階に合わせて課題に取り組み、国語の知識を増やすことができる。	生徒それぞれに合わせた個別課題を用意する。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	社会（知）			学習グループ名	高④ｂ
目標・ねらい	(1)様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉え、自分の生活と結び付けて考える力を養う。 (3)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会のために学習したことを生かそうとする態度、将来を担う国民としての自覚を養う。				
担当教職員 ＊学校介護職員	志賀　拓也、長嶺　亜矢子 ＊比嘉　郁				
年間授業時数	70　　単位時間				
使用教科書	改訂新版くらしに役立つ社会　東洋館出版社				

月	単元（題材）名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	社会生活ときまり	6	〇身近な決まりごとについてまとめ、考察する。 ◆憲法や法律、身近なルールなどの様々な決まりについて、なぜ決まりがあるのか、主体的に考察し、表現することができる。	学校内や家庭内のルールなど、身近で具体的な決まりごとも取り上げ、イメージや考察がしやすいようにする。
5	私たちのくらしと公共施設	16	〇身近な公共施設の働きについてまとめる。 ◆公共施設や公共物などの働きについての理解を深め，それらを適切に利用する。	視聴覚資料やワークシートを用いて分かりやすく提示する。
6			〇公共施設の利用の仕方を身に付ける。 ◆公共施設利用時のマナーや決まりについて理解を深め、その理由について主体的に考察することができる。	ロールプレイや社会科見学と関連させるなど、具体的にイメージしやすいようにする。
7			〇地域の公共施設の利用の仕方を調べる。 ◆自分の住む地域について理解を深め、情報活用能力を高める。	ＩCT機器を活用する。必要に応じて情報収集のためのサイトを二次元コードで読み込めるようにしておくなど、操作を支援する。
9	我が国の地理と歴史、自然環境	28	〇白地図を埋める。 ◆我が国の国土について、理解を深める。	ＩCTのアプリを活用するなど、楽しみながら取り組めるようにする。視聴覚資料を用い、視覚的に分かりやすく提示する。
10			〇地域ごとの特色や自然環境について理解を深め、考察する。 ◆我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子について理解を深める。	視聴覚資料やクイズなどを用いて、地方や都道府県ごとの特徴や名産などを紹介し、興味・関心をもてるようにする。
11			〇地域紹介新聞を作成する。 ◆地図や各種の資料などを活用し、地域の特色や歴史、社会の変化、伝統について理解を深め、情報を整理することができる。	ＩCT機器や図書を活用し、個々の興味・関心に応じた調べ学習ができるように支援する。
12			〇地域紹介新聞を発表する。 ◆集めた資料を自分の言葉でまとめ、表現することができる。他者の発表から興味・関心の幅を広げることができる。	成果物を貼り出すなど、達成感を得られるようにする。
1	持続可能な社会について考えよう	20	〇身近な国際関係について知る。 ◆外国の人々の生活や文化について知り、身近な生活との関わりに気付く。	視聴覚資料やクイズなどで、興味・関心をもてるようにする。食品や衣料など身近な外国の物を探すなど具体的な活動を設定する。
2			〇SDGsについて知る。 ◆持続可能な社会の実現に向けて、様々な課題について興味・関心をもつ。	ロールプレイなどで、SDGsについて達成しないことによって起こりうる未来を想像させるなど、主体的に考察できるようにする。
3			〇調べ学習や簡単なゲームを通してSDGsの理解を深める。 ◆社会の一員として、SDGsに取り組めることについて主体的に考察し、関わろうとする。	個々の意見を取り入れた簡単なゲームを行い、主体的に取り組めるようにする。
通年	時事問題・ニュース		〇ニュース解説 ◆社会事象への興味・関心を高め、理解を深める。	ＩCT機器を活用し、単元に関係するニュースや最新の時事問題を、視覚的に提示する。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	数学（知）			学習グループ名	高④ｂ
目標・ねらい	（1）　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見い出し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 （3）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し，数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
担当教職員 ＊学校介護職員	長嶺　亜矢子、志賀　拓也				
年間授業時数	105　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4 5 6 7	データの活用	24	○データの収集とその分析 ◆目的に応じてデータを集めて分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに，その妥当性について批判的に考察する。	どのような目的でデータを管理するかをはっきり意識させて、計算に導く。
9 10 11 12	図形	26	○縮図や拡大図 ◆地図などに利用されていることを意識させる。 ○概形やおよその面積 ◆簡単な図形の面積を求めることができる。	何倍に拡大するか、拡大する倍率を明確にしてから作図に導き支援する。また何倍に拡大されているか理解しているか留意する。
1 2 3	変化と関係	20	○伴って変わる二つの数量 ◆ｘが増えるとｙがどのように変化するか丁寧に観察できる ○二つの数量の関係 ◆二つの数量の関係を式にすることができる	関数の意味を表を使って計算させる。主に１次関数を取り扱う。身近な事象に関数的な事象があるか考えさせる。
通年	数と計算	35	○四則演算 ◆計算順序の決まりに従ってやや複雑な計算もできる	基礎計算は数学の様々な場面で用いられることを意識し、取り組ませる。
	数学的活動		○数学を生活に活用することなどについて実感する機会を設ける。 ◆（ア）　日常の事象を数理的に捉え，問題を見い出して解決し，解決過程を振り返り，結果や方法を改善したり，日常生活等に生かしたりする。（イ）　数学の学習場面から数学の問題を見い出して解決し，解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する。（ウ）　問題解決の過程や結果を，目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う。	<ア>生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てることを意識する。 <イ>ICT機器なども積極的に取り入れ、数学の楽しみを深められるように支援する。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	理科（知）		学習グループ名	高④ｂ	
目標・ねらい	（1）身の回りの生物に興味をもち、自然を大切にする心を養う。 （2）自然災害について知り、身を守る方法を考える。 （3）観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
担当教職員 ＊学校介護職員	郭　雅文、長嶺　亜矢子、志賀　拓也				
年間授業時数	70　　単位時間				
使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4 5	生命	12	○植物の発芽、成長、結実 ○植物の養分と水の通り道 ◆植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題を解決しようとする態度を育成する。	身近な植物を用い観察したり、日なたと日陰の植物を比較したりする活動を取り入れる。
6 7	生命	12	○動物の誕生 ○人の体のつくりとはたらき ○生命と環境 ◆人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想する力を養う。	ヒトや他の動物が生命を維持するために必要な活動について話し合う活動を取り入れる。
9 10	地球・自然	16	○流れる水のはたらきと土地の変化 ◆流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して予想や仮説をもとに問題を解決する態度を育成する。 ○天気の変化 ○自然と災害 ◆天気の変化の仕方を調べる活動を通して天気の変化を予想できるようにする。	国土交通相が提供しているライブカメラを活用するなど、変化が見られる画像や映像を準備し、それぞれの違いや関係性を様々な視点から捉えられるようにする。
11 12	物質・エネルギー	12	○電流のはたらき ○電気の利用 ◆電流の働きを調べる活動を通して、生活経験と結び付けながら理解を図る。	モーターの回る速さなど、目に見える物の様子の違いを、目に見えない電流の大きさや向きと関連付ける。
1	物質・エネルギー	6	○物の溶け方 ○水溶液の性質 ◆水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して水溶液の性質や働きについての理解を図る。	日常生活で使うものを用い、水溶液には何が溶けているのか、蒸発させたり、気体を集めたりして調べる。
2 3	物質・エネルギー	12	○身の回りの医薬品 ◆薬にはどのような効果があるのか、薬を使用する際の注意点などを調べたり、考えたりする。 ○燃焼のしくみ ◆物の燃え方を多面的に調べ、燃焼の仕組みについての理解を図る。	日常生活で用いる医薬品を例にあげる。 日常生活の中で物を燃やす体験が少ない現状を踏まえ、物が燃える現象を十分に観察・実験できるような場を設定する。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	音楽（知）		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関りについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現の技能を身に付ける。 (2) 音楽表現を創意工夫し、自分なりに評価しながら音楽を聴くことができるようにする。 (3) 音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。				
担当教職員 ＊学校介護職員	高橋　尚子、志賀　拓也、長嶺　亜矢子				
年間授業時数	35　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	音楽オリエンテーション	2	〇発声練習・歌唱・楽器演奏・鑑賞 ◆音楽の授業のルールを理解する。	・音楽の授業のルールを説明し、授業の流れを説明する。
5 6	歌唱・楽器・鑑賞 合奏しよう①	9	〇発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。 〇楽器演奏 ◆決められたリズムで楽器を鳴らす。 ◆友達と演奏する楽しさ、達成感を味わう。	・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
7	表現・鑑賞 みんなで歌おう①	9	〇発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。	・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。
9 10	歌唱・楽器・鑑賞 合奏しよう②		〇楽器演奏 ◆音の響きを｣ 意識して、ハーモニーを味わう。 ◆指揮者の合図に合わせて、タイミング良く楽器を鳴らす。 〇鑑賞 ◆音楽を聴き、情景をイメージする。	・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
11 12	楽器・身体表現・鑑賞 日本の伝統楽器	6	〇楽器演奏 ◆決められたリズムで楽器を鳴らす。 ◆友達と演奏する楽しさ、達成感を味わう。 ◆日本の伝統音楽を知る。 〇鑑賞 ◆音楽を聴き、情景をイメージする。	・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
1 2	歌唱・楽器 コンサートを開こう	6	〇発表会 ◆歌・楽器演奏の学習の成果を発表する。 ◆発表順や会の進行を生徒主体で取り組む。	・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。 ・生徒が主体的に活動できるよう、発表形態や役割を工夫する。
3	歌唱・鑑賞 みんなで歌おう②	3	〇発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。	・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術（知）		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 ＊学校介護職員	佐藤　やよい、長嶺　亜矢子、志賀　拓也、平井　帆香				
年間授業時数	70　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4 5	モダンアート：にじみ絵、吹き流し、ストリング（引き絵）。	12	○色の3原色を水や風や紐の動きによって混色しながら描画する。 ◆様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を味わい楽しむ。	・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
6 7	版画：モノ版画 工芸：額縁の制作	12	○花を鉛筆でデッサンする。花が描けたら、アクリル絵の具で着色する。ボードに転写し額縁を制作する。 ◆一回限り（モノ）の版画の難しさや緊張感を味わいながら制作する。 ◆色や形を工夫しながら、自分が納得できる作品を何回も試作しながら完成させる喜びを味わう。	・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
9 10	絵画：砂絵 陶芸：生活に役立つ器	16	○色砂を用いた描画。 ◆隣接する色との調和や全体の色調を意識しながら構図を考え出す力を付ける。 ○陶芸用の土で作陶する。 ◆生活に役立つ器をデザインし、デザインを表現するのにふさわしい技法で作陶する。	・色砂特有の表現方法を一緒に確認できる時間を設ける。
11 12	絵画：生き物を描く（バチック等の技法を用いた描画）	12	○本やネットなどから描きたい生き物を選択する。 ○水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてバチックの技法を用いて生き物を表現する。 ◆選択した生物を表現する方法を模索し、効果的な技法を選んで描画する。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。
1	墨象：墨絵を描く	6	○墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。 ◆表現したいテーマに基づいて描画することができたか。	・作品を紹介し、墨絵に親しみをもてるようにする。
2 3	デジタルアート：写真をコラージュする	12	○タブレット端末に写真を取り込み、コラージュ作品を制作する。 ○タブレット端末を使って、写真の素材をコラージュして、Tシャツやエコバッグのデザインをする。 ◆アプリ操作を学習し、タブレット端末でオリジナルのデザインを生み出す。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第1・2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	保健体育（知）		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 個々の実態に応じた課題やルール設定を行うとともに、話し合いの場面を設定する。 (3) 身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める				
担当教職員 ＊学校介護職員	平井　帆香、高橋　大幸、長嶺　亜矢子、志賀　拓也				
年間授業時数	70　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	体つくり運動	8	○柔軟ストレッチ運動、ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。	様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。
5 6	陸上競技 体育祭種目練習	14	○陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。	体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 自身の記録の変化が分かるようにする。
7 8 9	水泳	10	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を用いた活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図る。	安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。
10 11	球技「ボッチャ」	14	○投球方法やルールの確認、試合の中で実践的に戦略を立てる。 ◆自分が狙った場所にボールを打つことができる。	仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。
12 1	武道「柔道」	10	○道着の着衣、つかみ、寝技の体験を行う。 ◆伝統文化として武道の基本を体験を通じて理解する。	実際の試合を見たり使用する道具に触れたりして興味や関心がもてるようにする。
2 3	球技「ハンドサッカー」	14	○ルールの理解や試合の中で実践的な動きを行う。チームで作戦を立てる。 ◆ルールを理解し、周囲と協同してプレーする。	チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　　部	高等部	学　　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	職業		学習グループ名	高④ｂ	
目標・ねらい	(１) 職業に関する理解を深め、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。 (２) 将来の職業生活を見据え、必要な課題や解決策を考え、実践する。 (３) 共生社会の実現に向けて、生活改善をしようとする態度を養う。				
担当教職員 ＊学校介護職員	志賀　拓也、長嶺　亜矢子、平井　帆香				
年間授業時数	35　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	情報機器の活用	3	〇ＩＣＴ機器の活用 〇データの保護 〇情報通信ネットワーク上のルールやマナー 〇他者の人権への配慮 〇個人情報の取り扱い 〇資料の作成・発表 ◆基本的な特性や機能、操作方法、情報セキュリティや情報モラルを身に付け、情報を活用して考えたり、表現したりできる.	身近な題材や、イメージしやすい事例を用いて、主体的に考えられるように支援する。 実際のニュースや視聴覚資料を用いて、具体的なイメージがもてるようにする。 手順書や工程表で活動内容を明確にし、見通しをもてるようにする。
5		4		
6		5		
7		5		
9	作業学習、現場実習から学ぶ	5	〇自己実現と社会の一員としての役割 〇適切なコミュニケーション 〇実習壮行会 〇実習報告会 ◆職業生活に必要なことや、自己適性などについての理解を促し、働く力を身に付けることの意味を理解し、働くことへの意欲を高めながら、卒業後の進路について考える。	ロールプレイなどの体験的な活動を通して、実践的な学びを支援する。 視聴覚資料やホームページなど、視覚的に分かりやすくイメージがもてるようにする。 係活動や授業などの日常の活動と結び付け、将来に向けて具体的なイメージをもち、自信をもてるようにする。
10		6		
11		4		
12		3		
通年	職業生活		〇勤労の意義 〇働く理由・目的 〇ビジネスマナー 〇社会から求められる人 ◆勤労の意義や職業に関わる知識や技能について学び、身に付けた力を発揮したり、他者と協力したりして働こうとする意欲を育む。	

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第１・２学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	外国語（知）		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1)「聞く・話す」を中心に、「読む・書く」活動も取り入れ、挨拶や気持ち・体調の表現など、日常使う言い回しを習得する。 (2)長期にわたり定形文を繰り返し練習することで、自然に言葉が口から出てくるようになる。 (3)長期にわたり繰り返し練習することで、苦手意識をもたず新しいことにもに自主的に取り組むことができるようになる.				
担当教職員 ＊学校介護職員	髙橋　奈穂美、志賀　拓也				
年間授業時数	35　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	日常生活に身近な単語や表現を知る①	2	○日付・天気・数字の表現/自己紹介 ◆日常生活でもよく聞かれる表現に実際に触れる。	日付や天気は年間を通して繰り返すことで定着を図る。
5		3	○体の部位や教室にあるものの名前の表現 ◆実際に目にできるものを英語で表現する。	単語と実物を一致させるようにする。
6		3	○食べ物やスポーツ、教科の名前の表現 ◆興味のあるものを英語で表現する。	生徒の興味のあるものを引き出す。
7		2	○「花」「鳥」「空」などの漢字の意味の表現/1学期の復習 ◆やや抽象的なものを英語で表現する。	よく知っている1文字の漢字を英単語にする意外性を利用する。
9	日常生活に身近な単語や表現を知る②	3	○感情や体調を表す表現 ◆自分のことを英語で表現する（be動詞の文）。	様々な形容詞を学習し、会話に発展させる。
10		4		
11		4	○疑問詞/道案内/買い物/2学期の復習 ◆動詞や疑問詞を学習し、命令文や数字を含むを表現する。	where/ how muchなどの疑問詞を実際の会話に活用する。
12		2		
1	日常生活に身近な単語や表現を知る③	2	○can/mustを含む表現/1年のまとめ ◆canを使用し、自分のことを表現したり、他の生徒と質疑応答を行う。	まず I can~. で自分のことを表現し、Can you~?で相手との会話につなげる。
2		3		
3		2		1年間で行った学習について、対話中心に復習を行う。
通年	ALTとの英会話	5	○挨拶・自己紹介・季節やニュースに関する質疑応答を行う。 ◆積極的にコミュニケーションをとり、異文化理解を図る。	質疑応答を中心に行う。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第1・2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	キャリア基礎Ⅰ			学習グループ名	高④b
目標・ねらい	(1)係活動の行い方を学ぶ。 (2)自分の仕事に責任をもち、計画的に取り組む。 (3)自分の好きなことや得意なことを生かして活動する。				
担当教職員 ＊学校介護職員	志賀　拓也、長嶺　亜矢子、平井　帆香 ＊比嘉　郁				
年間授業時数	175　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
通年	個別の活動 係活動 余暇活動	175	〇係活動 ・給食のメニュー記入 ・必要物品の補充 ・健康観察表の記入と提出 ・プリントを取りに行く ・動植物の世話 ・食札の消毒 ・電気の消灯 ・ホワイトボード消し ・翌日の時間割 ・授業開始前の呼び掛け 〇学校行事に関する制作 ・体育祭や応援団の活動 ・校外学習の準備 ・修学旅行の準備 ・墨東祭の準備 〇個別の課題 ・プリント学習 ・体調調整 ・ICT機器の操作 ・余暇活動 ◆自分の役割を果たすことができる。（知識・技能・表現） ◆取り組み方を自分がやりやすいように工夫しながら取り組むことができる。（思考・判断・表現） ◆やる気をもって自分から取り組むことができる。（主体的に学習に取り組む態度）	・主体性を大切にし、支援方法に配慮して見守る。 ・健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 ・友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ名	高④ｂ
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 ＊学校介護職員	高橋　奈穂美、平井　帆香、佐藤　やよい、所　竜之介、石田　有香、鎌形　翼、椿　早百合、齊藤　尚寛 ＊宇都宮　雅彦、＊比嘉　郁、＊永池　秀行、＊西久保　千枝子				
年間授業時数	35	単位時間			
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	高等部を知ろう	3	○高等部の1年間の活動に見通しもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部の生活を知り、学年目標や係活動を決める。	・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5 6	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。	
7	学期のまとめ	2	○各活動の写真や動画を見て１学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。	
9 10 11	学期の行事確認 墨東祭事前学習 移動教室事前事後学習	11	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○場所の写真やスライドを見て、行く場所（地域）について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ○移動教室の事前学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。	・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て１学期を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。	
1	進路学習	3	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。	・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
2	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。	
3	進路について	3	○ＩＣＴ機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。	

令和６年度（2024年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探求の時間		学習グループ名		高④ｂ
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の意見課題を見付け、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見付け、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 ＊学校介護職員	杉浦　春久、志賀　拓也、長峰　亜矢子、石渡　ひかり、渡邊　沙綾、小畑　圭輝、西坂　千恵美、張替　良太 ＊芳賀　正次、＊古谷　誠人				
年間授業時数	35　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	高等部２学年の生活について	3	○高等部の1年間の活動に見通しもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部２学年の生活を知り、学年目標や係活動を決める。	・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
5 6	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の応援の練習や、出場種目を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。	
7	宿泊行事に向けて	2	○場所の写真やスライドを見て、行く場所について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を考える。	
9 10	修学旅行に向けて	7	○班ごとにテーマを決めて活動をする。 ◆修学旅行で行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。	・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
11	墨東祭事前学習	4	○修学旅行の事前学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。	
12	修学旅行 墨東祭事後学習	3	○調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。 ◆移動教室・墨東祭の学習を振り返る。	
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。	・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
2	進路学習	3	○興味ある職業についてＩＣＴ機器を使って調べる。 ◆卒業後の進路について考える。	
3	１年間のまとめ 進級するにあたって	3	○1年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し合い、認め合う。	

令和6年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 ＊学校介護職員	高橋　奈穂美、平井　帆香、佐藤　やよい、所　竜之介、石田　有香、鎌形　翼、椿　早百合、齊藤　尚寛 ＊宇都宮　雅彦、＊比嘉　郁、＊永池　秀行、＊西久保　千枝子				
年間授業時数	35　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	高等部の生活について	3	○自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部の一年間の生活を知る。	一年間の流れを知り、見通しをもてるようにする。
5	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。	意図的にチームを組み、生徒同士のやりとりが生まれるようにする。
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。	応援ぐグッズを作成し、練習の段階から本番の雰囲気を味わえるようにする。
7	移動教室事前・事後学習	10	○係ごとに事前・事後学習を行う。 ○内容に関する話し合い、準備、練習など。 ◆行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。	パンフレット、しおり等を活用し、見通しがもてるようにする。
9				係ごとに事前学習や調べ学習を行い、理解を深めていく。
10				写真や映像などを活用して、具体的に振り返れるようにする。
11	墨東祭に向けて	3	○全体練習、発表内容についての話し合い・分担など。 ◆役割をもって、仲間と協力する。	自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
12	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。	意図的にチームを組み、生徒同士のやりとりが生まれるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。	写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。	教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。	写真や映像などを活用して、具体的に振り返れるようにする。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名		高④ｂ
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 ＊学校介護職員	杉浦　春久、志賀　拓也、長峰　亜矢子、石渡　ひかり、渡邊　沙綾、小畑　圭輝、西坂　千恵美、張替　良太 ＊芳賀　正次、＊古谷　誠人				
年間授業時数	35　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
4	高等部２学年の生活について 新入生歓迎会	3	○高２の一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部２学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ	・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
5	レクリエーション 社会見学事前学習	3	○社会見学のしおり作りや画像行く場所の確認 ◆社会見学についての意識を高める。	
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。	
7	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。	
9	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。	・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
10	修学旅行事前学習	4	○調べ学習やしおりの印刷・製本をする ○当日の行動予定を立てる。 ◆宿泊行事への期待感を高め、活動について見通しをもつ。	
11	墨東祭に向けて	3	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。	
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。	
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。	・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。	
3	１年間のまとめ	3	○１年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。	

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	高④a
目標・ねらい	(1) 運動・動作の維持と改善や、関節の拘縮や変形を予防、筋力の維持・強化をする方法を知る。 (2) 自分の身体の健康状態を知り、健康を管理できるようになる。 (3) 心身ともにリラックスする。				
担当教職員 ＊学校介護職員	志賀　拓也、長嶺　亜矢子、平井　帆香 ＊比嘉　郁				
年間授業時数	70　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
通年	身体の取り組みを中心とした自立活動６区分 <健康の保持> <心理的安定> <身体の動き> <人間関係の形成> <環境の把握> <コミュニケーション>	70	〇歩行練習 ・車いすの手漕ぎ　・手つなぎ歩行　・スロープ歩行 ・階段の昇降　・ウォーカー歩行　など 〇筋肉トレーニング ・背筋　・膝立ち　・腕支持　・よつばい　・立位　など ◆基礎的な体力を付けたり、体幹の筋力を付ける。（知識・技能） 〇ストレッチ ・上肢　・下肢 ◆様々な身体の動かし方を体験し、力を抜いてリラックス方法を学ぶ。（主体的に学習に取り組む態度） 〇コミュニケーション ・ひらがなボード　・サイン、絵カード ・視線入力　・手話　など ◆自ら気持ちや感じたことを表情や言葉で伝えることができる。場面に合ったやり取りができる。（思考・判断・表現） 〇歩行や車いすの操作練習 〇操作性の教材 ・ビーズ　・スイッチ　・ひも通し　・ブロック ◆手指の操作性の向上させ、正確にものを操作する力を身に付ける。（知識・技能）	・その日の健康状態、心理状態を把握し、メニュー決定のアドバイスをする。 ・自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 ・自分の身体への意識を高め、自ら目的をもって活動できるような言葉掛けを行う。

令和６年度（2024年度）　都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学　部	高等部	学　年	第1・2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習		学習グループ名		高④ｂ
目標・ねらい	(1) 授業で培った事務作業能力などを総合的に発揮できる内容を工夫する。 (2) 仕事の依頼者との交流を大切にし、達成感を感じられるようにする。 (3) 見通しをもち、技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。				
担当教職員 ＊学校介護職員	長嶺　亜矢子、志賀　拓也、平井　帆香 ＊比嘉　郁				
年間授業時数	70　　単位時間				
使用教科書	なし				

月	単元（題材）名	指導時数	〇主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導上の留意点及び工夫
通年	スリッパ拭き（通年） 名刺作り（通年）	35	〇来賓、保護者用のスリッパ拭いて、消毒をする。 ◆見通しをもち、自分の役割を自覚する。	丁寧に拭くように声を掛ける。
			〇消毒済みのカードを作る ◆拭かれたスリッパを検品して収納する。	集中して作業に取り組めるよう、声を掛ける。
			〇作業の始まりと終わりに教員に報告する。 ◆1人でできたという自信を付けられるようにする。	責任感を持ち、やり遂げることに達成感を得られるよう、支援する。
		35	〇作業日誌を記録する。 ◆身だしなみの確認や作業の振り返りを行い、客観的に自己の仕事を振り返り、改善していくことができる。クラウド上のファイルを操作し、表計算ソフトの利用の仕方やICT機器を活用する能力を身に付ける。	項目により選択肢を設けることで基準を明確にし、振り返りやすくする。教員からのコメントにより、客観的な評価と自己評価をすり合わせ、達成感を感じつつ、改善していけるように指導する。入力方式は個人の特性に応じながら、それぞれの課題に合わせて支援する。
			〇注文書・確認書を確認し、必要なテンプレートやデータをダウンロードしすることができる。 ◆情報を読み取り、適切なものを判断することができる。	工程表を用意し、手順を視覚化し、見通しをもてるようにする。
			〇文書作成ソフトを用いて、名刺を完成させる。 ◆注文に基づいた適切な情報を入力することができる。作業内容について質問・報告・確認・相談を適切に行うことができる。	テンプレートを用意し、入力箇所を絞ることで失敗を減らし、品質と達成感を感じられるようにする、工程表を用意する。
			〇依頼品を納品する。新規の依頼を受注する。 ◆笑顔やはきはきとした言葉でのコミュニケーションをとることができる。	教職員から受注することで、実際の社会で役立つ経験をするとともに、責任感がもてるように指導する。